

2023 7.15 (sat) → 8.20 (sun)

特別展覧会

英国王室に咲く ボタニカルアートと ウェッジウッド

～ 植物画のおいたち ～

18世紀から19世紀にかけて大きく発展した英国の姿を、当時流行したボタニカルアート約150点や、ウェッジウッドの美しい陶磁器約40点を通して紹介する展覧会で。

ジョージ3世の時代、英国では産業だけでなく学問や文化がなかった隆盛を見せました。その一翼を担ったのが英国王室です。とくにシャーロット王妃は自然科学や文化に強い関心を持ち、植物標本や植物誌を収集するとともに植物画を習うなど、その発展に寄与しました。

やがて、植物学とボタニカルアートは一般の人々へも広まり、流行していくこととなりますが、それをけん引したのは、1787年に創刊し、現在も英国キュー王立植物園が発行している植物誌『カーティス・ボタニカル・マガジン』でした。植物学者だけでなく、園芸を愛する一般市民の手にも渡った本誌は、一点一点で彩色された美しい図版によって大きな人気を博しました。また、この時代には東方や南半球へ冒険家が進出し、世界各地の植物を盛んに収集したため、その影響を受けて次第に新来の植物を収録するようになり、多種多様な植物の姿を人々に伝える役割も果たしました。

一方で、英国の発展は陶磁器産業にも支えられていました。1759年に創業したウェッジウッド社は、シャーロット王妃からの庇護を受けたことによって、国内最大の産業として成長を遂げます。創業者のジョサイア・ウェッジウッドが技術革新や経営への工夫を重ねて開発したクリムウェアは、シャーロット王妃より「クイーンズウェア」の称号を与えられ、ウェッジウッドの陶磁器は当時の人々の生活に浸透していきました。

本展では、英国の人々の教養と生活の質の向上に多大な影響を及ぼしたことで、「啓蒙時代」を象徴するものとなったボタニカルアートとウェッジウッドの陶磁器を展覧し、世界に先駆けて発展を遂げた英国の一時代を紹介します。

9・ウースター(ティー・セット「クイーン・シャーロット・パターン」ポット、クリーマー、シュガーポット)1755-75年頃 磁器、金彩、エナメル彩

Photo: ©Michael Whiteway & Brain Trust Inc., 2023



- 1・バシリウス・ベスラーの委託による《バラの栽培品種(バラ科)》1713年 銅版、手彩色、紙
- 2・アン・リー《ツルコケモモ(ツツジ科)》1771年 水彩、ヴェラム
- 3・ヨハン・ゾファニー《シャーロット王妃の肖像》1772年 メゾチント、紙
- 4・ウェッジウッド《ポータランドの壺》19世紀(1790年デザイン) ジャスパーウェア(磁器)
- 5・シデナム・ティースト・エドワーズ《パンクラティウム・アマンカス(イスマミアマンカ) (ヒガンバナ科)》1809年 銅版、手彩色、紙
- 6・フリードリッヒ・ゴットロープ・ハイネ《ミスミンウ(キンボウケ科)》1805-37年頃 銅版、手彩色、紙
- 7・ピーター・ヘンダーソン《ロードデントロン・ボンティクム(ツツジ科)》1802年 銅版、手彩色、紙
- 8・《モス・ローズ(バラ科)》1788年 銅版、手彩色、紙

関連イベント

学芸員によるギャラリー・トーク

日 時◇7月23日(日)、8月6日(日)
各日: ①10:00～ ②14:00～ (30分程度)

当館学芸員が会場を案内し、作品解説を行います。
※当日の観覧券が必要です。事前にご用意いただき、エントランスホールにお集まりください。

講演会

「英国の近世にみるボタニカルアートの歩み」

講 師◇大場 秀章氏(東京大学名誉教授、当展監修者)

日 時◇7月15日(土) 14:00～(1時間半程度)

場 所◇2階 大会議室

料 金◇無料 ※展覧会をご観覧いただくには、別途観覧券が必要です。

定 員◇30名

申込み◇予約が必要です。電話または館内受付にてお申込みください。
7月1日(土)～14日(金) ※受付時間は、9:00から19:00までです。

【同時開催】

鶴岡市所蔵作品展 第2期「生える・咲く・枯れる」～金子八畝、齋藤求、野尻佐太右衛門など～

会 期◇7月1日(土)～9月24日(日) ※開場時間は特別展覧会と同じです。

会 場◇ギャラリー1 常設展示コーナー(入場無料)

【喫茶のご案内】

フォーラムカフェ クルール

展覧会開催中は毎日営業 ※臨時休業の場合あり。メニューなど、詳細についてはホームページをご確認ください。

時 間◇10:00～16:00 (ラストオーダー15:30)



鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051
E-mail:info@t-artforum.net URL:https://www.t-artforum.net



【アクセス】■自動車:高速山形自動車道・鶴岡ICより、鶴岡市役所を目指して約10分 ■バス:JR鶴岡駅より「052系統 市内循環 Aコース 左回り」「053系統 市内循環 Bコース 右回り」「055系統 市内循環 Cコース 右回り」「032/033/034系統 湯野浜温泉行」「061系統 あつみ温泉方面行」のいずれかに乗車し、「アートフォーラム前」または「市役所前」バス停で下車(約10分)

※お車で越越しの際は、荘銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄りです(無料)